



真夏のシドニーからGood Day! PIオーストラリアです。

私たちのオフィスはシドニーCBDの中心地にあり、美味しいお店や、観光名所に囲まれており最高の立地です。最寄りのタウンボール駅は、日本のお店が多く入り、日本を身近に感じながら働くことができます。

今回はヘルスケアチームで働くスタッフ6名の体験談を通しオーストラリアの魅力をお伝えします。全員女性のヘルスケアチームは、平均勤続年数が10年という熟練揃いです。

アドミニH: PIオーストラリアの好きなところを教えてください。

ヘルスケアA: 人間関係が良いことです。異国に住む日本人として苦労や苦悩など、共通するものが多いから労わり合えるのかもしれませんが。時にはぶつかることもあります。尾を引くこともなく前向きに仕事できています。仕事を辞めても付き合いを続けたいと思う同僚も多いです。

ヘルスケアB: 仕事を通して豪の医療システムに詳しくなったことは予期せぬ財産となりました。医療は必ず誰にでも関わることなので、急な怪我や病気になった際に、システムを知っていると知らないのでは不安が格段に違います。

私自身急な手術を経験しましたが、費用の妥当性や手術までの流れなどが分かっているのでその点では心配が減りました。とはいえ、異国の病気や怪我、出産など、日本で経験するよりも格段に不安ですし、医療用語は難解で大変なストレスです。

そのような時に、微力ながらサポートできる業務であることは私にとっては誇りです。

ヘルスケアC: 忘年会など、会社の交流会を楽しみにしています。

希望者のみの参加なのですが、ほぼ全員参加しています。カラオケでは皆で踊ったりマイクを奪い合ったり、演歌を熱唱する人、懐メロ、洋楽など多様ですが、皆100パーセント出し切ります。

趣味や年齢が違う人の集まりでこんなに一体感があるのはある意味不思議です。



アドミニH：オーストラリアに行ってみようかな？と思えるような魅力を教えてください。

ヘルスケアD：留学先としておすすめしたいですので良い点を挙げますね。

1. 治安が良い
2. 単位が日本と同じものが多い
3. 日本と時差が少ない
4. 他国と比較すると学費も経済的

私の場合ですが、社会人になってからお金を貯めて留学したので特に費用は大事で、学費、生活費なども考慮してこの国を選びました。学生ビザでも上限はありますが仕事ができるので、大学で学ぶことのみならず、現地での仕事を体験しながら、出会いを通して生きた英語も学べたのも良かったです。またカジュアルというバイトのような制度は、時給が良いので、生活費を稼げるという点でも魅力です。

ヘルスケアE：仕事面では、きちんと休みが取れるので働く環境は良いです。年に一度3週間ほど里帰りしますが、日本で働く友人達はそんなに休みは取れないようです。また長期有給休暇制度があり、10年働くと3か月の有給がもらえるので、その時に長期旅行に行ったり資格を取ったりする人も居ます。仕事と私生活のバランスが良く、家にも早く帰れるので、家族と過ごす時間も多く取れます。

ヘルスケアC：自然が多いところが好きです。都心部でも少し車で走ると国立公園があるし、街の中にも緑が多いです。昔はビーチが大好きでしたが、最近は断然森です。色々な山歩きのコースがあるので、週末によく歩きに行きます。

人が居ないひっそりとしたコースを見つけると得した気持ちになります。ちょっと遠いですがブルーマウンテンズの遊歩道は空気が違うんです。歩いていると元気が出てくるので大好きな場所です。私はスピリチュアルな人間ではないですが、あそこはパワースポットだと思っています。

アドミニH：シドニーで起きた印象的なエピソードなどありますか？

ヘルスケアF：自宅の庭にコアラが居たときには驚きました。今ではそういう事もあると分かっていますが、当初は動物園から逃げてきたのかと思いました。コアラって動かないイメージだったので普通に走っている姿を見てコアラへの印象が変わりました。それと、シドニーの北部には野生の七面鳥が居るのですが最初は驚きました。しかし捕って食べてはいけないそうですので気を付けないといけません。

ヘルスケアC：30年近く前の話ですが、間違ったバスに乗ってしまい、終点で降ろされて途方に暮れていたことがありました。すると日本人のご夫婦が同じバスに乗っていたようで、声をかけてくれました。事情を話すと、もうバスも無いので家まで送ってくれると言うんです。

携帯電話も無い時代、どうすることもできない状況だったので、ご夫婦の親切が身に沁みました。。感謝感激で驚いていることを伝えたのですが、「同じ国のもの同士、異国では助け合わないとね。」といった言葉が印象的で私のその後のシドニー生活に大きく影響しています。

あのご夫婦がいなかったら私はあの場所で野垂れ死んでいたかもしれないので、あれから、困っていそうな人をみかけたら進んで声をかけるようになりました。

アドミニ二H：いい話ですね。野垂れ死ぬ事は無かったでしょうが、危ない目に遭ったかもしれないと考えたら命拾いましたよね。

ヘルスケアB：私の場合恐怖の体験なのですが、自転車に乗っていたらマグパイ（鳥）に襲われたのです。かぶっていたヘルメットに何度も突撃されて、叫びながら自転車をこぎ続けました。それからというもののマグパイが木にいと下を通れません。なんでもマグパイはキラキラしたものを狙うようなので皆さまもお気を付けください。

アドミニ二H：怖いですね。でもそれはBさんがキラキラしていたからという事にしましょう。ここで、ちょっと視点を変えて、オーストラリアで、ここは嫌だなという部分を教えてください。

ヘルスケアC：私自身はサマータイム制度が苦手です。クイーンズランド州では廃止されたようですが、他全州で導入されています。体内時計が狂うし、夜遅くまで明るいのでつい夜更かしをしがちになり、早朝は暗いのです。でも好きな人も多いようなので、廃止にはならないでしょうね。

アドミニ二H：私は好きですよ。仕事から帰ってからビーチで泳げるのが最高じゃないですか。

ヘルスケアC：習い事の月謝が高いです。特に楽器系はそう感じます。基本的になんでも贅沢品は高いんですよね。

アドミニ二H：日本のものでオーストラリアにも欲しいと思うものはありますか。

ヘルスケアの人々：たくさんありますよ～、ファミレス、遊園地、スーパー銭湯、町内会、小劇場、車両内での通話にご遠慮ください、温泉、コンビニ、ヨシモト新喜劇、たこ焼き屋、ケーキバイキング、飲んだ後のラーメン、・・・永遠に続きそうな勢いです。

ヘルスケアA：でもこの不便さがあるからこそ、たまに帰国した際の日本滞在の楽しみが倍増するので気に入っている部分もありますね。

アドミニ二H：それはありますね。私としては、うぐいすの鳴き声が恋しいですね。あれを聴くと、春の訪れを感じるのですよ。

・・・と綺麗にまとめたところで終わしましょう。

皆様シドニーに来ることがあればぜひオフィスにお立ち寄りください。お待ちしております。



企業向けサービス

赴任者さまが**海外の病院**で治療を受けた場合
日本の健康保険の請求が可能です。

- 24時間日本語対応
- キャッシュレス受診
- 医療費請求サポート
- 緊急搬送サービス
- 医療相談

など充実!

プレステージ・インターナショナル ヘルスケアプログラム

詳しくはこちら